

高速負荷可能な4連式回転曲げ疲労試験機の開発

山本, 泰三

<https://doi.org/10.15017/1931889>

出版情報：九州大学, 2017, 博士(工学), 課程博士
バージョン：
権利関係：

氏 名	山本 泰三
論 文 名	高速負荷可能な 4 連式回転曲げ疲労試験機の開発
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 後藤 浩二 副 査 九州大学 教授 園田 佳巨 副 査 九州大学 教授 吉川 孝男

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、繰返し数が 108 回を超える高サイクル疲労試験に対する社会的要請に対し、多くの実績を有する負荷様式である回転曲げを利用した高効率の試験機及び試験時に懸念される局部温度上昇をモニタリング可能な装置を開発し、これらを活用することで従来の JIS 規格の回転速度制限緩和の可能性を確認したものとして、疲労強度学および材料試験技術上、価値ある業績であると認める。以上の結果、博士（工学）の学位に値すると認める。